

「当院におけるパーキンソン病支援サポート入院の効果と検討」に関するお知らせ

このたび、当院でパーキンソン病薬剤調整目的の入院をした患者さんの身体機能評価を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、市立吹田市民病院臨床研究審査委員会の承認を得て、病院長許可のもと行うものです。

本研究で、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

1. 研究の対象となる方

2024 年 1 月初～2025 年 8 月末の期間に、パーキンソン病の薬剤調整目的で市立吹田市民病院脳神経内科病棟に入院した患者さん

2. 研究の目的

当院で導入している、パーキンソン病支援サポート入院（以下、サポート入院）制度の効果を検証することが目的です。サポート入院は、2～3 週間の入院期間中に、脳神経内科医師による薬剤調整や、リハビリテーション（以下、リハ）療法士による理学療法・作業療法・言語聴覚療法の集中したトレーニングと自主練習指導を提供し、身体機能の維持・改善を目標としています。今回は、入院前後の患者さんの身体能力を比較検討することで、サポート入院の効果を検討し、入院期間やリハ提供時間の検証に努めようと考えています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 6 月末日

4. 利用または提供の開始予定日

2025 年 12 月 1 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に可能な限り対応いたします。

5. 研究に用いる試料・情報の内容とその取得方法

パーキンソン病の薬剤調整目的で入院した患者さんの身体機能評価（リハ時に測定したもの）および診療記録等を用います。

※この研究で得られた患者さんの情報は、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

6. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・市立吹田市民病院リハビリテーション科 作業療法士 常深志子（研究代表者）
理学療法士 木矢歳己
- ・ 脳神経内科 医師 中野美佐
- ・群馬パース大学リハビリテーション学部作業療法学科 近藤 健（統計解析）

7. 試料・情報の管理責任者

＜提供元機関＞市立吹田市民病院 病院長 内藤雅文

＜提供先機関＞群馬パース大学リハビリテーション学部（統計解析）

8. 試料・情報の提供方法等について

パスワードをかけた電子ファイルを、メールで送信します。

9. お問い合わせについて

ご自身の身体評価データ等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

○研究課題名：名：当院におけるパーキンソン病支援サポート入院の効果の検討

○研究代表者：市立吹田市民病院 常深志子

○お問い合わせ先：

市立吹田市民病院 リハビリテーション科 常深志子

住所：〒564-8567 大阪府吹田市岸部新町 5-7

電話：06-6387-3311（代表）（土日祝日を除く 9：00～17：00）